

『たっち』は、みんなの心や輝きへの「タッチ」を通して、「たちかわ」の地域・家庭・学校が手をつないで、生涯を通じた学びを推進したいという思いを込めて付けた名前です。

たっちの発行は年3回です。次号の発行は令和7年2月10日です。

たっち

立川市教育だより

●今号の主な内容
2面 … 「立川市中学生平和学習派遣事業」で各校の代表の中学生が広島市を訪問しました/アールブリュット立川2024
3面 … 未来につなぐ部活動改革-市立中学校部活動の地域連携・地域移行の取組/令和7年度以降に市立中学校で使用する教科書を採択しました
4面 … 砂川学習館・地域コミュニティ機能複合施設整備事業の進捗について/立川市の歴史と文化財
編集・発行/立川市教育委員会
〒190-8666 立川市泉町1156-9
☎042(523)2111(市役所代表)
立川市ホームページ
<https://www.city.tachikawa.lg.jp/>



立川市・大町市姉妹都市中学生サミット ～中学生サミット10周年 持続可能性を考え、次の10年へ～



7月13日(土)・14日(日)、姉妹都市交流事業の一環として、立川市と大町市の中学生の代表が交流しました。大町市との交流は平成3年度に始まり、平成27年度以降は、生徒会を中心とした中学生の相互訪問を実施しており、今回でちょうど10周年となりました。今年度は立川市が開催都市となり、市内のさまざまな地域資源を生かして交流を深めました。

☎指導課指導係・内線2498



立川市キャラクターくるりん/大町市キャラクターおまびよん



1日目 (対面式～バーベキュー・ビーチ遊び～プラモデル作り～両市のPR)

1日目、対面式では酒井市長や立川市・大町市の両教育長から「いつもより積極的に」というアドバイスをいただき、早速交流を深めていました。くるりんも登場し、場を和ませてくれました。

対面式後はタチヒビーチに移動し、バーベキューやビーチ遊びを通して交流しました。



次に、コトブキヤ本社を訪れ、プラモデル作りを通して交流しました。初めてプラモデルに触れる生徒もいましたが、製作から展示、撮影までみんなで楽しみました。ウドラも応援に駆けつけてくれました。

夜は、互いの市について紹介しました。それぞれの市について、さまざまな観光スポットを動画で紹介したり、自分が住んでいる地域の名産や特色を詳しく説明しました。

©UDOLLAND

2日目 (バスケットボール交流～解散式)

2日目は立川第六中学校の体育館でバスケットボールを通じて交流しました。地元のプロバスケットボールチーム・立川ダイスの選手やユースの中学生選手も参加し、共に交流を深めました。

最後の解散式では、代表生徒が「一緒に時間を共有することの大切さ」や「これからの両市の親善の必要性」について話しました。



中学生サミットに参加した生徒たちが交流を通して学んだことは、それぞれの学校にて報告・還元していきます。また、令和7年1月25日(土)に開催する「立川教育フォーラム」の中でも報告する予定です。